

展示構成表4

コーナー名(大項目)	コンテンツ(中項目)	伝えたい内容	主な展示資料	参考資料等
			・林正巳氏所蔵資料	
			・尾張名所図会	
			・鸚鵡籠中記	
			・人見弥右衛門・赤林孫七郎 関連資料	明和の碑
			・尾張藩士 福富親茂(ちかしげ)	宝永の石柱、御床几石銘並首塚銘
			・長久手征伐記	
			・遊長湫記	
			・吉田知行 関連資料(初代村長)	小説「冬の派閥」城山三郎、青松葉事件(幕末)
			・史跡の絵葉書、写真	その後の森家、池田家、それぞれ明治の碑を建立。
			・市内文化財	
			○長久手合戦史跡分布図(グラフィック)	
			○年表(グラフィックパネル)	
	国指定史跡「長久手古戦場」	○ 長久手古戦場史跡指定資料を展示し、古戦場が国指定史跡であることを改めて認識してもらう。	○史跡指定資料(実物もしくは複製) ・長久手古戦場史跡指定資料(複製等製作)	
VI 古戦場の史跡をめぐろう <ガイダンスホール>				
	古戦場の史跡をめぐろう ! 長久手床地図(合戦ルート入立体視地図)	○ 公園内および周辺の情報をビジターセンター的に紹介。(古戦場と周辺史跡の自然等) ○ 長久手古戦場が国指定史跡であることを簡潔に解説	○長久手床地図(グラフィック) ○史跡めぐり、街歩きガイド(パンフレット) ○古戦場ARビューワー ○国指定史跡「長久手古戦場」解説パネル	長久手市「長久手市文化財マップ」 長久手町史編さん委員会『長久手町史 資料編三 文化財』 長久手町役場 261頁~286頁
※無料エリアでの情報と有料エリアでの情報を、情報の深さや内容で差別化する。				

地下1階 展示平面プロット図

II マッピング映像
 既存地形模型をリニューアル。
 小牧・長久手の戦いの動きを伝える。

武将語り映像 (28インチモニター+甲冑)
 合戦に臨んだ武将の目を通した、小牧・長久手の戦いのそれぞれの思惑を伝える。



I ガイダンスシアター (190インチの大型映像)
 「本能寺の変」から「江戸開府」までを解説。
 日本史における小牧・長久手の戦いの重要性を理解してもらう。

ドローンやCG、実写映像等で迫力ある映像とする。
 男性(武将)ばかりではなく、女性にも焦点をあてた内容とする。

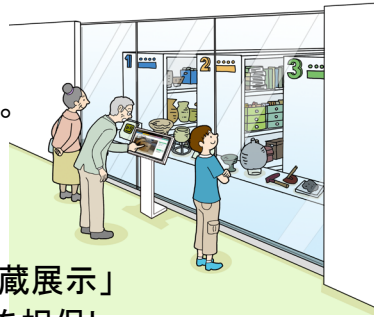


情報検索
 「小牧・長久手合戦図屏風」を紐解く(現在の光景との対比デジタルコンテンツ)

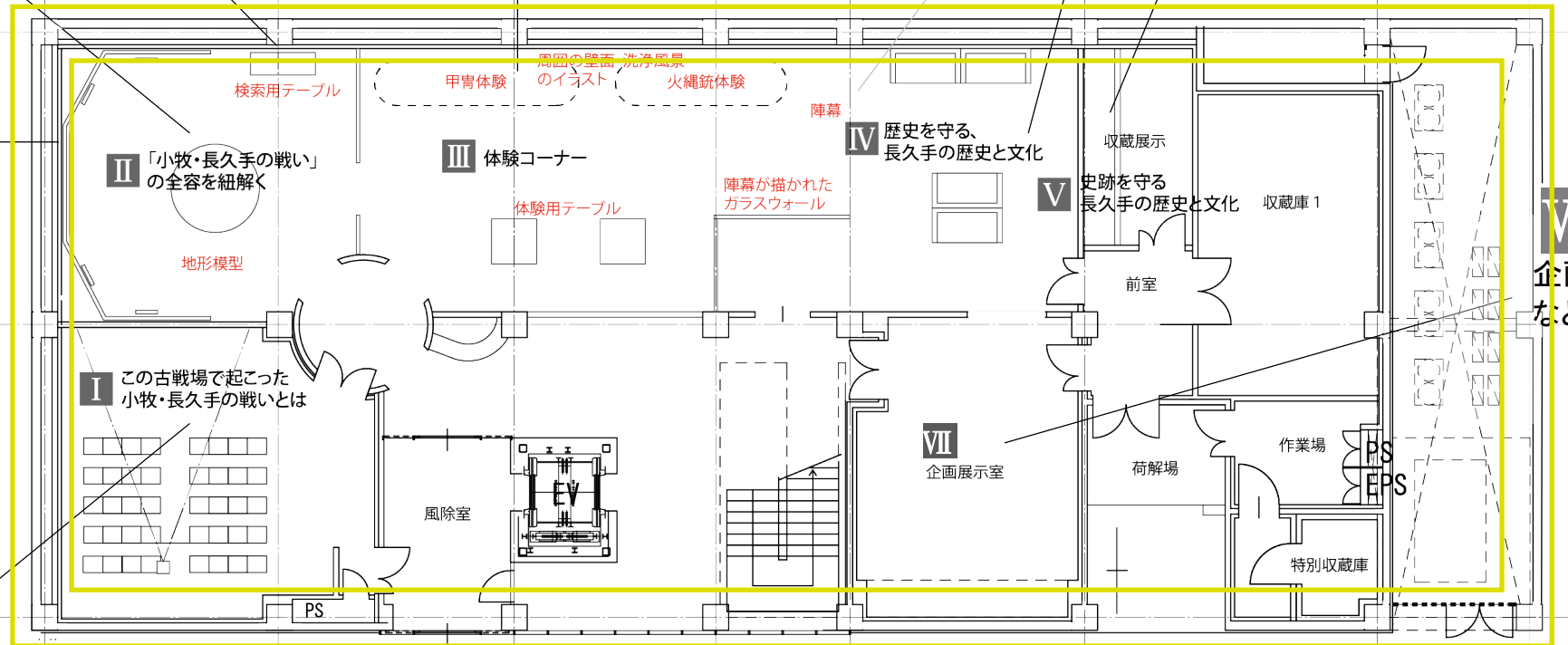
III 体験エリア
 甲冑体験、火縄銃体験、合戦ゲーム等



IV 資料展示
 長久手の戦いに関連する資料を展示。



V 収蔵展示
 収蔵庫側を「収蔵展示」とし、保存環境を担保しつつ資料を展示する。

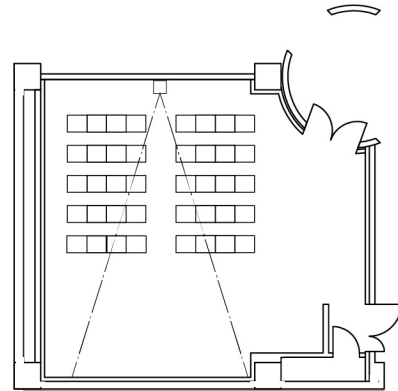


※展示の解説は、点字の表記、多言語表記、Wi-Fiを使ったデジタル解説などを検討。

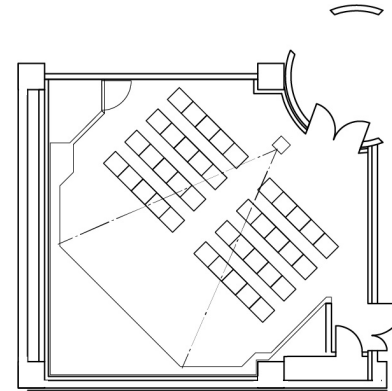
ガイダンスシアターの検討

概要

- 画面サイズ(案)
190インチ(W4m × H2.5m)
- 収容人数 40人
- プロジェクター1投打ち



A: 壁面利用
 建築の壁面を活用。
 講演会や学習会など、多目的に使いやすい。
 臨場感に欠ける。



B: 専用スクリーン設置
 シアター用にスクリーン面を製作。臨場感を演出。
 無駄な隙間が出る、多目的に使いづらい。